

# 教務旬報

教務通信 第3号 令和8年5月12日

登校日数  
22/196

## 「正解のない問い」を、仲間と一緒に楽しもう!

「総合的な探究の時間」は、教科書の枠を超えて、世の中のリアルな課題に挑む時間です。本校では週ごとの授業ではなく、年に12回の「集中授業」としてたっぷり時間をとっています。


<p><b>☆何をやるの?</b></p> <p>自分で決めたテーマを深掘りし、先生や仲間と一緒に解決策を探ります。</p>	<p><b>☆ここが面白い!</b></p> <p>教科書に正解が載らない問題に対して、「自分たちなりの答え(納得解)」を見つけ出す、新しい学びの形です。</p>	<p><b>☆新しい自分に会える</b></p> <p>普段の授業では気づかなかった、あなたの意外な才能が開花するかもしれません。</p>
--	---	---

さて、「総合的な探究の時間」は「必修」の学習です。単位の認定に、各教科・科目と同様に「履修」の認定が必要になります。体調管理もしっかりしておきましょう。ルールとマナーを守って、一生モノの「考える力」を一緒に身につけていきましょう!

**◎本校定時制において定める目標**

1. 講座ごとのテーマを十分に理解し、自ら課題を見つけ、主体的に課題解決に向けて取り組むことができるようにする。
2. 課題解決のために、主体的・創造的な態度で臨み、人間としての在り方、生き方を探究することができるようにする。

**◎目標を実現するにふさわしい探究課題**



**新入年次(プロジェクト KAJO I)**


「地域や学校の特色に応じた課題」  
自己理解から始める探究スキル  
ブレ探究 学校魅力化プロジェクト

**在校年次(プロジェクト KAJO II)**

「地域や学校の特色に応じた課題」(外部との連携)  
「生徒の興味・関心に基づく課題」  
自分の興味や自分の暮らす地域を考えることから探究する

**卒業年次(プロジェクト みらい)**

「職業や自己の進路に関する課題」(外部との連携)  
「横断的・総合的な課題」  
自分の将来や社会の未来を考えることから探究する



# はじめに

きょうざい たんきゅうがくしゅう だいいちがくしゅうしゃ  
教材「これからはじめる探究学習(第一学習社)」

## ■「探究的な学習」とは

「探究的な学習」とは、図1のように、問題解決的な活動が発展的にくり返されていく学習活動を指します。

- ①【課題の設定】 体験活動などを通して、課題を設定し課題意識を持つ。
- ②【情報の収集】 必要な情報を取り出したり収集したりする。
- ③【整理・分析】 収集した情報を、整理したり分析したりして思考する。
- ④【まとめ・表現】 気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、問題の解決に向けた判断をし、表現する。

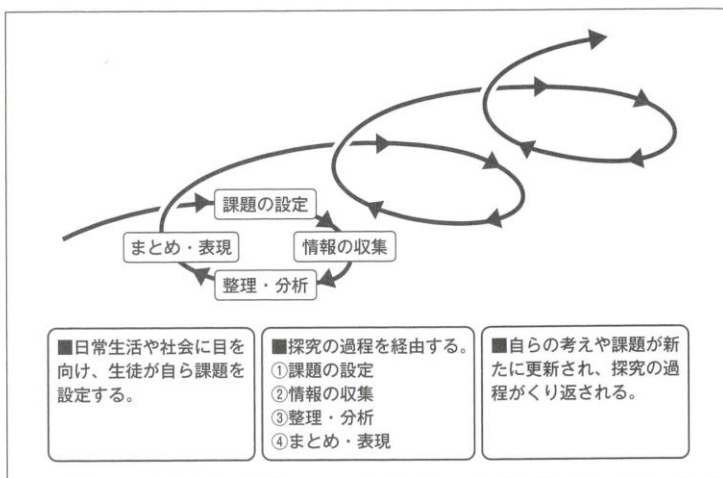


図1 探究における生徒の学習の姿

※文部科学省「高等学校学習指導要領解説 総合的な探究の時間編」をもとに作成

これからの時代を生きていく皆さんには、自分で課題を発見し、解決していく力が求められます。そして、そのような力を身につけるためには、自ら課題を設定し、試行錯誤しながら答えを模索する「探究的な学習」をくり返すことが、非常に重要になってきます。本教材で、これまで皆さんが経験してきた調べ学習とは異なる、「探究的な学習」に必要となる力を身につけていきましょう。

## 探究で新たな価値を創出しよう！

**Memo** 探究に向け 自分の関心があること つきつめてみたいこと書いてみよう



### <保護者の方々へ>

教務旬報は、ホームページでもご覧いただくことができます。モバイルサイト(スマホで閲覧可能)も対応しています。

バックナンバーなどもご覧いただけます。

アクセスは以下のアドレスまたはQRコードへ

<http://www.kajogakuen-h.ed.jp/htdocs/定時制の課程/生徒・保護者の方へ/>

もしくは、「霞城学園高校」で検索をお願いします。

